
カラダ共有事情

如月利夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カラダ共有事情

【Nコード】

N5467E

【作者名】

如月利夜

【あらすじ】

普通の人間として生きてきた中学生、緋崎れんにある日5つの人格が生まれる。その人格たちと体を共有していくれんの日常は山あり谷あり川ありで恋愛してみたりしなかったり…。下らない日常を綴る、日記のような物語。

プロローグ

まだ熱の残る夕方の教室、あたしの夏休みは終わってはいなかった。

「あーも、やだー!」

何故なら、宿題を終わらせていないのだ。

ドリル形式のワークブックがあと13ページ。
理科の宿題の植物観察もまだだ。

あたしは机に頬杖をつき、芯の出なくなったシャープペンをノックした。

一人きりの教室に、ノック音だけが虚しく響く。

ふと立ち上がり、窓から外を見る。

現在時刻は4時を少し過ぎている。

部活に勤しむ生徒がちらほらと目についた。

(あたしも、早く部活行きたいなあ…)

窓枠から身を乗り出すと、短い髪が夕方の日差しに照らされ、きらきらと光る。

あたしは床に投げ置いてあったカバンを持つと、机に入れてある教科書やペンケースを押し込んだ。

もちろん、宿題はサボるつもりで。勢い良く教室を飛び出し、あたしに笑顔を向ける友人に軽く手を振る。

職員室前を担任教師に見つからないように走り去ると、少なくとも解放感が生まれた。

「はあ…っ、よし！脱走成功！！」

膝を押さえて屈み、息を整え、小さくガッツポーズをとる。

こんなことを繰り返し続けるあたしの名前は緋崎れん。青春真っ最中の中学二年だ。

一応自己紹介をすれば、どこにでもいるとゆうベタな天然娘だ。

決して平和で何もない日々には刺激の足りなさを感じているわけじゃない。

あたしは一つ歩を進めると夏の刺すような暑さにため息をついた。夏休みも過ぎ、終わりを待つばかりの夏。

どこか寂しさを感じさせる夏の終わりという響きが好きだった。

何も変わらず、これから来る秋も冬も過ごして行くんだろう。

それも悪くない。少ない中学生活、一般人として楽しみたいじゃないか。

それよりも気になるのは部活の様子。

何も言わず飛び出してきたから、友人も心配するんじゃないだろうか。

あたしは美術部に所属している。
美術部といえど、油絵や水彩画とは縁の無い落書き部。

それでも、仲間と駄弁って騒いで時々先輩に怒られて、暇なんてしない。

不意に歩いてきた道を振り返った。

なにかつまらないなんて、そんなこと思った理由があたしにもわからず、家路を走った。

プロローグ（後書き）

最初はれんの一人語り、次からは第三者視点からトントン拍子に物語が進んでいきます。若干腐女子的要素が顔をだす時がありますが、長い目で見てやってくださいませ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5467e/>

カラダ共有事情

2010年10月17日06時41分発行